

## 多世代交流拠点づくり【第2回】ワークショップNEWS

### 第2回目のワークショップを開催しました！

第1回目のワークショップでは、多世代が交流できる拠点として「どんな施設にしたいか」「どんな活動ができそうか」といった内容を話し合いました。

今回は、前回のワークショップでの意見を踏まえて作成した「施設のレイアウト・イメージ図」を基に、開館時間帯や運営体制について意見を出し合いました。

#### 外観イメージ



#### 1班 施設レイアウト

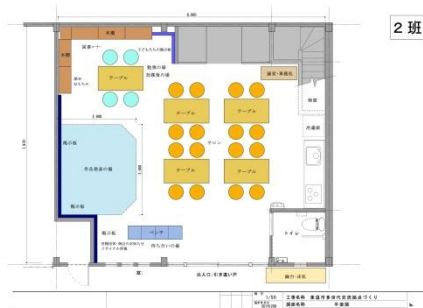


#### 1班 子どもが遊べる置き畳のスペースや手紙を書いたり、くつろげる空間

第1回ワークショップで出された意見

- ・お茶などでくつろげる時間をつくる
- ・昔あそび、趣味の教室など
- ・あて名の無い手紙交換システム など

#### 2班 施設レイアウト



#### 2班 作品発表のステージや待ち合い所など多機能型の空間

第1回ワークショップで出された意見

- ・バスや電車の待ち合い場所
- ・子どもたちが勉強するスペース
- ・趣味やサロン活動の発表の場 など

#### 3班 施設レイアウト



#### 3班 販売スペースや展示スペースなど情報発信のできる空間

第1回ワークショップで出された意見

- ・お試し販売や手作り作品の販売ができる
- ・くつろぎ・憩いのスペース
- ・暮らしの情報を発信する場所 など

■実施日

12月15日

■場所

横河原公民館

## 当日の様子

第1回目の結果をもとに作成した各班の「レイアウト・外観イメージ」について説明しました。



グループに分かれ「開館曜日・時間、備品、運用協力体制」について検討しました。理想的な多世代交流拠点になるため、具体的な内容をみんなで話し合いました。



出された意見をグループごとに発表しました。

他のグループの意見も聞きながら、交流拠点のルールなど、意見共有を行いました。

## ワークショップでの意見

### 開館曜日・時間について

開館  
初期

- ・(案①) 10:00~17:00
- ・(案②) 8:00~17:00
- ・(案③) 10:00~18:00
- ・曜日や季節で変動する
- ・用途によって、曜日、時間をわける

将来

- ・土日も開館する。
- ・予約制の導入
- ・曜日によって使う対象者を分ける
- ・長期休暇中でも使用できる

### 備品について（調達方法など）

開館  
初期

- ・イス、机、傘置き、掃除道具
- ・食器類、お茶道具、冷蔵庫
- ・本棚、本、おもちゃ
- ・Wi-Fi、テレビ、時計、カレンダー
- ・家にある使用していないものを提供
- ・イベントで作る

将来

- ・自動販売機
- ・古本市、リサイクル市
- ・収益から新しく調達
- ・折りたためる机
- ・ウォーターサーバー
- ・コーヒーメーカー

### 運営協力体制について

開館  
初期

- ・1年目の使用予約管理は市役所
- ・地域の関わり（鍵の受渡し・ボランティアスタッフ等）が必要
- ・掃除、片づけ、ごみ処理は利用者が責任を持って実施

将来

- ・運営委員会をつくり、市と連携
- ・横河原区内で運営協力体制づくり
- ・学校の先生が立ち寄ってもらう
- ・オートロック式の扉にして、施設の開錠だけできるようにする。